

施設名	調布福祉園	受審(実施)年度 (※)	令和4年度	施設番号	41-0120
-----	-------	-----------------	-------	------	---------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和4年度)	改善計画 (令和4年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和 5年 4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和 年 4月30日時点)
組織目標達成、人材育成、モチベーション向上等多くの効果があるとされる、目標管理制度の導入を改めて検討することに期待したいについて	かつては、目標管理制度の一つでもある Do-CAP シートを使った仕組みを試行していたが、職員の負担を考慮して中止した経緯がある。目標管理制度は、組織目標達成等、多くの効果が期待されるものである。今回の職員自己評価で、人材育成やモチベーションに係る項目に改善の余地があることが見受けられた。目標管理制度の導入の他、人材育成、モチベーションの向上を図っていくことが必要	コロナ禍の影響で、対面での外部研修等が難しい状況だったが、代わりにオンラインでの研修に参加し、より多くの機会を持つことができた。令和5年度の事業計画において、新たに発足する委員会や職場内の研修を計画した。まずは、それらを用いて人材育成等への取り組みとして活用していきたい。目標管理制度(Do-CAP シート)については、検討課題として協議する。	1 実施済み 2 実施予定 (令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和 年 月) 具体的には以下のとおりです。
利用者家族の高齢化に伴い、利用者の意思や意向を確認する際の代弁者の設定が望まれるについて	利用者家族とは、面談時等に利用者本人の情報を交換し、施設での生活に対する意向や意見を聞き取っている。現在、家族の高齢化が顕著となっており、今後、利用者の意向を代弁する家族に関して、どのように対応していくかが検討されている。後見人や代理人を設定する対策が必要。	高齢化した家族が、意思決定を担っている場合も多く、後見人等の代弁者を設定することを勧めてきた。利用者本人が不利益とならないよう、今後も園から家族連絡会等で積極的に代弁者を設定するように家族に働きかけていく。	1 実施済み 2 実施予定 (令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和 年 月) 具体的には以下のとおりです。
改めて一般職員まで情報が確実に流れているか検証し、効果的な情報伝達の方策について検討することに期待したいについて	今回の自己評価にて、リーダー層と一般職員とに大きな評価の差が見受けられた。経営会議や委員会等で一般職員に決定事項を周知してきたが、情報が確実に伝わっていなかった。各部署での会議等が減っていることが要因の一つと考えられる。情報が確実に伝わる対策が必要。	各部署での会議等ができるだけ増やし、会議録や資料の回覧だけでは不十分なことを補足する。また、毎日の朝礼が情報の理解・伝達・周知の場であることを改めて認識するとともに会議内容を普段の会話に取り上げる等、効果的に情報が伝わるように検討した。なお、令和5年度について、新たに発足する委員会等を機会に、さらに効果的な情報伝達の方策を工夫したい。	1 実施済み 2 実施予定 (令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和 年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。